



2024年5月9日

各 位

会社名 タカラスタンダード株式会社
代表者名 代表取締役社長 小森 大
(コード番号 7981 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員管理本部財務部管掌
梅田 馨 (TEL.06-6962-1502)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」
及び「株主との対話の推進と開示」について

当社は、東京証券取引所の要請を踏まえ「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」及び「株主との対話の推進と開示」について、別紙の通り策定いたしましたのでお知らせいたします。
また、当社のホームページにも掲載しておりますので、併せてお知らせいたします。

以 上

タカラスタンダード株式会社

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2024年5月9日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

目次

Agenda

- 1 現状分析
- 2 取組方針
- 3 取組内容
- 4 キャッシュアロケーション

当社は近年PBR1倍割れが継続しており、資本収益性の改善と企業価値向上が課題と認識しております。

〈現状認識〉

◆資本収益性

〈ROE、ROICの状況〉

増収傾向にある中で利益成長の停滞と純資産の増加により、両指標は改善せず、特に2022年以降は、資材・エネルギー価格が高騰し、価格改定を実施するも効果の遅れにより利益率が低下している。

⇒ 資本収益性の向上へ向けて収益構造とバランスシート双方の改善が必要

◆資本コスト

〈市場の期待値との乖離〉

ROEおよびROICが低水準にあるため、エクイティスプレッド、EVAスプレッド共にマイナス圏で推移しており、PBRは1倍を下回る状況が継続している。

⇒ 安定的にエクイティスプレッド、EVAスプレッドがプラスとなる資本収益性を達成し、更なる向上を目指す

◆PBR

〈PBR1倍割れの要因〉

ROE、ROICの低迷に加え、事業環境が変化するなか、成長戦略についての情報開示が不足している。

⇒ 成長に向けたエクイティストーリーの提示とIR活動による市場との積極的な対話が必要

〈エクイティスプレッド・EVAスプレッドとPBRの状況〉

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	5年平均
CAPM ※	6.4%	7.0%	6.3%	4.5%	5.2%	5.9%
ROE	5.3%	4.4%	6.1%	4.6%	5.2%	5.1%
エクイティスプレッド	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 0.2	0.1	0.0	▲ 0.8
	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	5年平均
WACC ※	5.9%	6.5%	5.7%	4.2%	5.0%	5.5%
ROIC	5.0%	4.1%	5.2%	4.0%	4.4%	4.5%
EVAスプレッド	▲ 0.9	▲ 2.4	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.0

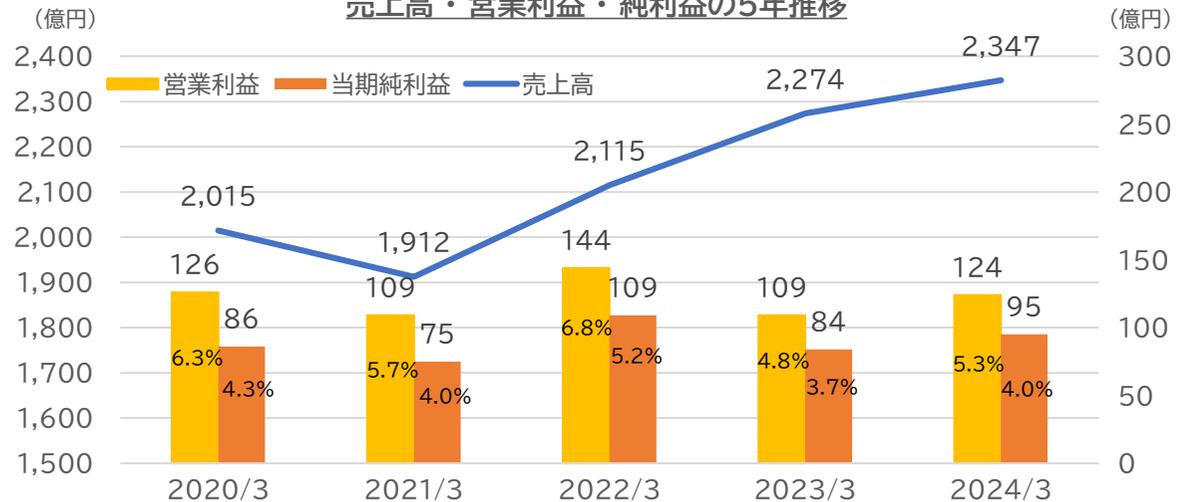
(単位:円)

BPS	2,280	2,397	2,480	2,580	2,742
期末株価	1,658	1,667	1,269	1,469	1,953
PBR	0.73	0.70	0.51	0.57	0.71

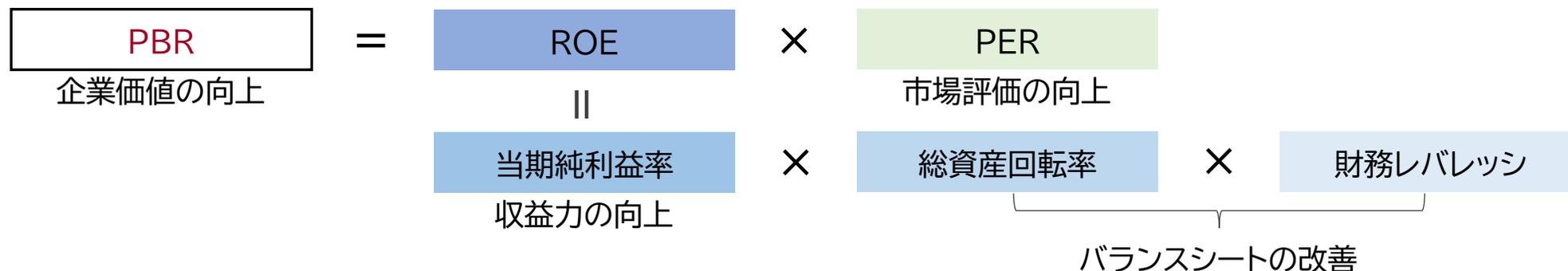
※ CAPM:株主資本コスト

WACC:負債資本コストと株主資本コストの加重平均

売上高・営業利益・純利益の5年推移



当社は、「長期的な企業価値の向上」を重点目標として、持続可能な成長へ向けた各施策の実行と連動した財務戦略により、ROE、PERを改善しPBRの向上に努めて参ります。



	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
PBR	0.73	0.70	0.51	0.57	0.71
ROE	5.3%	4.4%	6.1%	4.6%	5.2%
PER	14.0	16.1	8.5	12.5	14.2
当期純利益率	4.3%	4.0%	5.2%	3.7%	4.0%
総資産回転率	0.79	0.74	0.76	0.81	0.87
財務レバレッジ	1.54	1.48	1.53	1.54	1.43

当社は有利子負債の構成比が低いためROEを改善目標の中心として取り組みます

〈取組方針〉

ROE

2026年度 7%、2030年度 8%、将来的に10%以上を継続

PER

IR活動の体制強化と開示情報の拡充、投資家との積極的な対話による市場評価の向上

当期純利益

既存事業の持続的な成長と新規事業の拡大による利益成長（高付加価値商品構成比アップ）

総資産回転率

非事業資産の縮減（政策保有株式、遊休資産の売却）、在庫水準の適正化

財務レバレッジ

成長投資に資本を配分するとともに、株主還元の充実により純資産を削減

資本収益性の改善と企業価値向上へ向けて、各種取組施策の着実な実行に努めて参ります。

長期的な企業価値の向上 = ホーローと共に、光り輝く魅力ある企業へ

収益構造改革（経済価値を創出）

サステナビリティ戦略（社会価値を創出）

◆ 既存事業の持続的な成長

ROE(純利益)改善

- ・ **Takara standard Digital Transformation** … デジタル活用による業務改革（人的生産性向上、在庫・物流費削減、営業基盤再構築）
- ・ **エリアマネジメント** … 地域別業務集約、収益管理体制の強化（人員・人件費の抑制）
- ・ **アイテムマネジメント** … 商品アイテムの削減、適正なアイテム数の維持管理（ヒット商品開発への注力、収益力の向上）
- ・ **リフォーム事業拡大** … 今後の注力分野であるリフォーム市場へ経営資源を集中（生産能力増強、商品力強化、中高級品拡販 等）

◆ 新規売上の拡大

- ・ **海外事業基盤構築** … 商品開発、生産供給体制、戦略的パートナー連携
- ・ **オープンイノベーション** … 新規事業開発（新ビジネスへの投資・共創）

◆ 環境への取組み

PER改善

- ・ **CO2排出量削減** … 2026年度 ▲15%
(2020年度比) 2030年度 ▲30%

◆ 人的資本への投資

- ・ **人財開発** … 多彩なキャリアパス実現
専門人財育成
研修プログラムの充実
- ・ **組織開発** … チャレンジ風土の醸成
ダイバーシティ推進
健康経営推進
透明性のある評価・処遇

◆ 財務戦略

ROE(財務レバレッジ・総資産回転率)改善

- ・ **積極的な成長投資** … 高付加価値商品の生産能力増強（ホーロー製品、システムバス 等）
- ・ **株主還元の充実** … 利益成長に伴う累進配当(配当性向 40%水準)
資本構成に応じた機動的な自己株式の取得

- ・ **保有資産の効率化** … 政策保有株式縮減、遊休資産売却、在庫水準適正化

◆ IR活動の充実

PER改善

- ・ **財務、非財務情報の発信力を拡充**（投資家向け説明会、IRサイト刷新、統合報告書、等）
- ・ 積極的な対話による**株主・投資家との信頼関係の向上**

4. キャッシュアロケーション

持続可能な成長基盤の構築に向けて、成長投資や経営基盤強化等に資本を積極的に配分するとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元の充実を図ります。

2024 - 2026年度
「中期経営計画2026」

2027 - 2030年度

「中期経営計画2026」期間においては、持続的成長の実現のため成長投資や経営基盤強化に優先的に資金を配分しROE7%を目指す。

2027年以降は更なる成長に向け投資を継続するとともに、収益力強化と、積極的な株主還元の実施によりROE8%、将来的にROE10%以上を目指していく。



配当性向 40%水準
機動的な自己株式の取得
ROE7%

ROE8%

将来的にROE10%以上

タカラスタンダード株式会社

株主・投資家との対話の実施状況
(2023年度)

2024年5月9日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

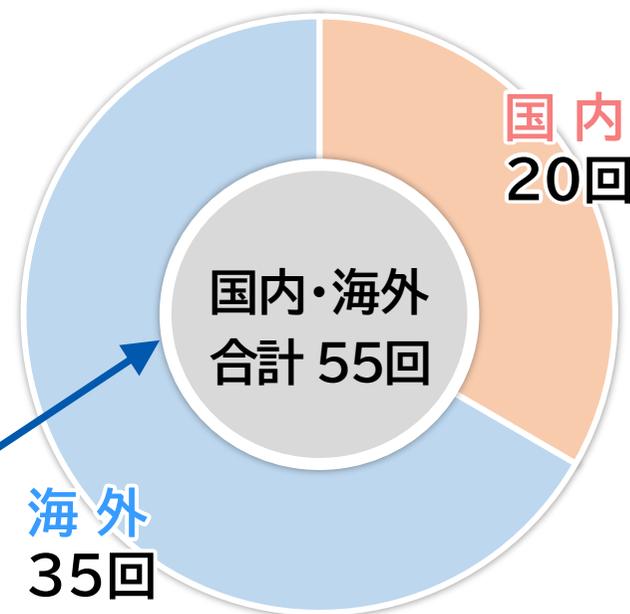
Takara standard

当社は、持続的な成長および企業価値向上を目的に、株主・投資家の皆様との建設的な対話に積極的に取組み、対話の内容・状況につきましては、社内へのフィードバックを適宜実施しております。2023年度の対話の実施状況につきまして、以下の通りご報告いたします。

1. 対話の実績

	主な対応者	実施回数
株主総会	全ての取締役および監査役	1回
個人投資家説明会	IR部門長	2回
個別面談	IR部門長および担当役員	55回

2. 個別面談の株主・投資家概要



3. 対話の主なテーマ

テーマ	主な内容
事業概要	当社の特長・強み、シェア、市場環境
決算の状況	売上の状況、営業利益の増減要因
事業戦略	国内事業の取組施策、海外事業の展望
経営方針	資本収益性・PBR、資本政策、ESG、IR

4. 社内へのフィードバック

	主な内容	実施回数
取締役会	<ul style="list-style-type: none"> 資本収益性の改善 IRの活動状況 株主の状況 	6回
経営層、関連部署	株主・投資家との対話の重要なテーマ	適宜

5. 対話を踏まえて取り入れた事項

	要望事項	当社対応	内容
資本収益性	資本コストを意識した資本収益性の改善	株主還元の充実	資本収益性の改善と株主還元のより一層の充実を目的に、増配と自己株式取得を実施。
IR強化	開示資料の充実	決算説明資料の四半期作成	従来作成の2Qおよび期末に加え、1Qと3Qも新たに作成。
		英文開示の拡充	決算短信の各Qのサマリー英訳に加え、期末の全文英訳も実施。その他の開示も随時対応。
	投資家の認知度向上	IRサイトのリニューアル	各種コンテンツの拡充を和英とも実施。
		スポンサードリサーチレポートの導入	機関投資家から認知度の高いシェアードリサーチ社のレポートを導入。

< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL 06 - 6962 -1502

E-mail ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard